

平成三十一年 造幣局桜の通り抜け

俳句入選句

辻田 克巳 選

特
選

(三句)

花筵端を重ねて陣を取る

兵庫県加東市

桂 日呂志

1

【評】 「端を重ね」が、着眼・表現ともに俳句的、詩的。

喜寿傘 寿米寿のトリオ通り抜け

大阪府大阪市

村田 照枝

【評】 喜・傘・米を三つともとり込んでリズム化したお手柄。

通院の帰りに花の通り抜け

兵庫県神戸市

出店 智恵呼

【評】 少し常套的ながら「花の通り抜け」で一句にした。

入選

(五句)

やはらかに訪ふ雨や花の道

大阪府大阪市

歳岡 信子

つつがなく生きて今宵の桜狩

大阪府豊中市

五井 明美

浪花人今日は花人通り抜け

大阪府大阪市

井上 恵美子

朝櫻初日しよごちを撮す新聞社

大阪府大阪市

圓山 啓子

通り抜最終の日も花冷す

大阪府大阪市

濱上 美沙子

佳作

(三五句)

花に名をかりて八十路のクラス会

大阪府大阪市

小田 幸子

車椅子ひ孫に押され通り抜け

大阪府大阪市

山野 金子

散る花を膝あたたためる車椅子

静岡県焼津市

佐々木 孝子

花守の人ありて今日通り抜け

大阪府大阪市

歳岡 信子

大川を行き交う船に花の雨

奈良県生駒郡

石井 恵子

花の雨母の笑顔の車椅子

大阪府堺市

木村 雅子

花冷や裸電球昼灯す

大阪府大阪市

濱上 幸男

桜みて祖母おもい出す通りぬけ

兵庫県尼崎市

亀井 利沙

ここちよい風にさそわれちるさくら

兵庫県尼崎市

亀井 知子

ひらひらと舞い散る花を手のひらに

兵庫県神戸市

長森 安之

咲き満ちて花重そうな通り抜け

岡山県岡山市

岸野 洋介

大川へ桜吹雪や通り抜け

大阪府八尾市

うらなか みわ

幽玄のぼんぼり映えて通り抜け

静岡県焼津市

西川 正二

平成の最後の桜通りぬけ

大阪府守口市

中田 文子

入選句読みてさくらの心知る

大阪府寝屋川市

大西 孝雄

喜寿迎え病も癒えて通り抜け

大阪府八尾市

奥野 武彦

平成の御代の最後の通り抜け

大阪府大阪市

中田 重幸

大川を行き交ふ舟や夕桜

兵庫県川西市

国代 鶏侍

米寿でも思わぬ出逢ひある花見

兵庫県西宮市

藤村 とうそん

八重桜令和を知らず逝きし父

大阪府枚方市

光平 朝乃

つえ二つぼちぼち歩く通り抜け

大阪府大阪市

田中 真由美

青空をはみだして咲く桜かな

茨城県取手市

明賀 靖子

初孫に見せてあげたしこのさくら

大阪府枚方市

野沢 美子

桜より桜見ている人がいい

大阪府羽曳野市

川端 恵介

青空にいま満開の通り抜け

大阪府寝屋川市

荒井 興四一

選者吟

辻田 克巳

中腹に一本あれば桜山

通り抜けとて花季はなじきの造幣局

詠めずとも桜どんどん咲いて来る

雨降りて景なす花の一軒家

花散ればもとの大阪天満橋